

3月 29 (日)

また、主にふさわしく歩み、あらゆる点で主に喜ばれ、あらゆる良いわざの  
うちに実を結び、神を知ることに於いて成長しますように。

コロサイ 1:10

30 (月)

「キリスト・イエスは罪人を救うために世に来られた」ということは真実で  
あり、そのまま受け入れるに値するものです。私はその罪人のかしらです。

I テモテ 1:15

31 (火)

ピラトは罪状書きも書いて、十字架の上に掲げた。それには「ユダヤ人の  
王、ナザレ人イエス」と書かれていた。

ヨハネ 19:19

4月 1 (水)

イエスは、母とそばに立っている愛する弟子を見て、母に「女の方、ご覧な  
さい。あなたの息子です」と言われた。それから、その弟子に「ご覧なさい。  
あなたの母です」と言われた。その時から、この弟子は彼女を自分のところ  
に引き取った。

ヨハネ 19:26-27

---

## 2 (木)

イエスは酸いぶどう酒を受けると、「完了した」と言われた。そして、頭を垂れて霊をお渡しになった。

ヨハネ19:30

---

## 3 (金)

しかし、彼は私たちの背きのために刺され、私たちの咎のために砕かれたのだ。彼への懲らしめが私たちに平安をもたらし、その打ち傷のゆえに、私たちは癒やされた。

イザヤ 53:5

---

## 4 (土)

キリストは自ら十字架の上で、私たちの罪をその身に負われた。それは、私たちが罪を離れ、義のために生きるため。その打ち傷のゆえに、あなたがたは癒やされた。

I ペテロ 2:24

---

---

## 5 (日)

かみ つみ し かた わたし つみ わたし  
神は、罪を知らない方を私たちのために罪とされました。それは、私たちが  
かた かみ き  
この方において神の義となるためです。

Ⅱコリント 5:21

---

## 6 (月)

かのじょ い  
イエスは彼女に言われた。「わたしはよみがえりです。いのちです。わたしを  
しん もの し い  
信じる者は死んでも生きるのです。

ヨハネ 11:25

---

## 7 (火)

じぶん い ちやうろう さいしちやう  
そのときからイエスは、ご自分がエルサレムに行って、長老たち、祭司長た  
りつぽうがくしゃ おお くる う ころ みっかめ  
ち、律法学者たちから多くの苦しみを受け、殺され、三日目によみがえらな  
ければならないことを、でし たち しめ はじ  
弟子たちに示し始められた。

マタイ 16:21

---

## 8 (水)

しゅう はじ ひ あさはや くら はか  
さて、週の初めの日、朝早くまだ暗いうちに、マグダラのマリアは墓に  
きて はか いし と  
やって来て、墓から石が取りのけられているのを見た。

ヨハネ 20:1

---

9 (木)

そのとき、先に墓<sup>さき</sup>に着<sup>はか</sup>いたもう一人<sup>つ</sup>の弟子<sup>ひとり</sup>も入<sup>でし</sup>って来<sup>い</sup>た。そして見<sup>み</sup>て、信<sup>しん</sup>じた。

ヨハネ 20:8

---

10 (金)

イエスは彼女<sup>かのじょ</sup>に言<sup>い</sup>われた。「マリア。」彼女<sup>かのじょ</sup>は振<sup>ふ</sup>り向<sup>む</sup>いて、へブル語<sup>ご</sup>で「ラゴニ」、すなわち「先生<sup>せんせい</sup>」とイエスに言<sup>い</sup>った。

ヨハネ 20:16

---

11 (土)

あなたがたは、キリスト<sup>ししや</sup>を死者<sup>なか</sup>の中からよみがえらせて栄光<sup>えいこう</sup>を与<sup>あた</sup>えられた神<sup>かみ</sup>を、キリスト<sup>しん</sup>によって信<sup>しん</sup>じる者<sup>もの</sup>です。ですから、あなたがたの信<sup>しんこう</sup>仰<sup>きぼう</sup>と希望<sup>かみ</sup>は神にかかっています。

I ペテロ 1:21

---

---

## 12(日)

かみ しゅ 神は主をよみがえらせましたが、その御力みちからによって私わたしたちも、よみがえらせてくださいます。

I コリント 6:14

---

## 13(月)

それから、トマスに言われた。「あなたの指ゆびをここに当てて、わたしの手を見なさい。手てを伸ばして、わたしの脇腹わきばらに入れなさい。信じない者しんではなく、信じる者しんになりなさい。」

ヨハネ 20:27

---

## 14(火)

その日ひ、すなわち週しゅうの初めはじの日の夕方ひ かた てし、弟子たちでしがいたところでは、ユダヤ人じんを恐おそれて戸とに鍵かぎがかけられていた。すると、イエスが来きて彼らかれの真まん中なかに立ち、こいう言いわれた。「平へい安あんがあなたがたにあるように。」

ヨハネ 20:19

---

## 15(水)

そこで、ほかの弟子でしたちは彼かれに「私わたしたちは主しゅを見た」と言いった。しかし、トマスかれは彼らわたしに「私わたしは、その手てに釘くぎの跡あとを見て、釘くぎの跡あとに指ゆびを入れ、その脇腹わきばらに手てを入れてみなければ、決しんして信いじません」と言いった。

ヨハネ 20:25

---

---

## 16 (木)

ようかご だし ふたた いえ なか  
八日後、弟子たちは再び家の中におり、トマスも彼らと一緒にいた。戸に  
かぎ  
は鍵がかけられていたが、イエスがやって来て、彼らの真ん中に立ち、  
へいあん  
「平安があなたがたにあるように」と言われた。

ヨハネ 20:26

---

## 17 (金)

トマスはイエスにこたえた。「わたししゅ わたし かみ  
の神よ。」

イエスはかれにい  
言われた。「あなたはわたしをみたから信じただけですか。見  
ないしん  
て信じる人たちは幸いです。」

ヨハネ 20:28-29

---

## 18 (土)

これらのことが書かれたのは、イエスが神の子キリストであることを、あなた  
がたがしん  
信じるためであり、またしん  
じて、イエスの名によっていのちを得るため  
である。

ヨハネ 20:31

---

---

19 (日)

なぜなら、もしあなたの口<sup>くち</sup>でイエスを主<sup>しゅ</sup>と告白<sup>こくはく</sup>し、あなたの心<sup>こころ</sup>で神<sup>かみ</sup>はイエスを死者<sup>ししゃ</sup>の中からよみがえらせた<sup>なか</sup>と信<sup>しん</sup>じるなら、あなたは救<sup>すく</sup>われるからです。

ローマ 10:9

---

20 (月)

あなたが祈<sup>いの</sup>るときは、家の奥<sup>いえおく</sup>の自分<sup>じぶん</sup>の部屋<sup>へや</sup>に入りなさい。そして戸<sup>と</sup>を閉<sup>し</sup>めて、隠<sup>かく</sup>れたところにおられるあなたの父<sup>ちち</sup>に祈<sup>いの</sup>りなさい。そうすれば、隠<sup>かく</sup>れたところ<sup>み</sup>で見<sup>み</sup>ておられるあなたの父<sup>ちち</sup>が、あなたに報<sup>むく</sup>いてくださいます。

マタイ 6:6

---

21 (火)

また、祈<sup>いの</sup>るとき、異邦人<sup>いほうじん</sup>のように、同じことばをただ繰<sup>く</sup>り返<sup>かえ</sup>してはいけません。彼<sup>かれ</sup>らは、ことば数<sup>かず</sup>が多い<sup>おお</sup>ことで聞<sup>き</sup>かれると思<sup>おも</sup>っているのです。

マタイ 6:7

---

22 (水)

ですから、彼<sup>かれ</sup>らと同じようにしてはいけません。あなたがたの父<sup>ちち</sup>は、あなたがたが求<sup>もと</sup>める前<sup>まえ</sup>から、あなたがたに必要<sup>ひつよう</sup>なものを知<sup>し</sup>っておられるのです。

マタイ 6:8

---

---

## 23 (木)

あなたがたはみな、<sup>しんこう</sup>信仰により、キリスト・イエスにあって<sup>かみ</sup>神の<sup>こ</sup>子ども  
です。

ガラテヤ 3:26

---

## 24 (金)

そして、あなたがたが<sup>こ</sup>子であるので、<sup>かみ</sup>神は「<sup>ちち</sup>アバ、<sup>ちち</sup>父よ」と<sup>さけ</sup>叫ぶ<sup>み</sup>御子の<sup>こ</sup>御<sup>みたま</sup>霊  
を、<sup>わたし</sup>私たちの<sup>こころ</sup>心に<sup>つか</sup>遣わされました。

ガラテヤ 4:6

---

## 25 (土)

このように、あなたがたは<sup>わる</sup>悪い<sup>もの</sup>者であっても、<sup>じぶん</sup>自分の<sup>こ</sup>子どもたちには<sup>よい</sup>良いも  
のを<sup>あた</sup>与えることを<sup>し</sup>知っているのです。それならなおのこと、<sup>てん</sup>天におられるあな  
たがたの<sup>ちち</sup>父は、ご<sup>じぶん</sup>自分に<sup>もと</sup>求める<sup>もの</sup>者たちに、<sup>よい</sup>良いものを<sup>あた</sup>与えてくださらないこ  
とがあるでしょうか。

マタイ 7:11

---



26 (日)

まことに、もう一度<sup>いちど</sup>あなたがたに<sup>い</sup>言います。あなたがたのうちの二人<sup>ふたり</sup>が、どんな<sup>ちじょう</sup>ことでも地上<sup>こころ</sup>で心<sup>ひと</sup>を一つにして祈<sup>いの</sup>るなら、天<sup>てん</sup>におられるわたしの父<sup>ちち</sup>はそれをかなえてくださいます。

マタイ 18:19

---

27 (月)

ですから、あなたがたはこう祈<sup>いの</sup>りなさい。『天<sup>てん</sup>にいます私<sup>わたし</sup>たちの父<sup>ちち</sup>よ。御名<sup>みな</sup>が聖<sup>せい</sup>なるものとされますように。

マタイ 6:9

---

28 (火)

御国<sup>みくに</sup>が来<sup>き</sup>ますように。みこころが天<sup>てん</sup>で行<sup>おこな</sup>われるように、地<sup>ち</sup>でも行<sup>おこな</sup>われますように。

マタイ 6:10

---

29 (水)

私<sup>わたし</sup>たちの日<sup>ひ</sup>ごとの糧<sup>かて</sup>を、今日<sup>きょう</sup>もお与<sup>あた</sup>えください。

マタイ 6:11

---

30 (木)

私<sup>わたし</sup>たちの負<sup>お</sup>い目<sup>め</sup>をお赦<sup>ゆる</sup>してください。私<sup>わたし</sup>たちも、私<sup>わたし</sup>たちに負<sup>お</sup>い目<sup>め</sup>のある人<sup>ひと</sup>たちを赦<sup>ゆる</sup>します。

マタイ 6:12

---